

農業



令和5年8月号
会誌 No. 1706

目次

巻頭言

酷暑に思うこと……………西郷 正道 3

論壇

都市農業—東京の場合—……………村上ゆり子 4

農業懇話会

これからの地域社会・農業のための獣害対策について……………山端 直人 6

表彰農家訪問

春ニンジンの二世大規模専作経営と産地作りや……………望月 龍也 25
女性農業者育成への貢献
—徳島県板野町に茂美良行さん・美代子さん夫妻を訪ねて—

食を楽しむ

種子販売を通じて伝統野菜の魅力を伝える……………小林 宙 33

研究の最前線

「桃太郎」トマトの育成とその普及、そして現在……………畠中 誠 34
—民間育種会社のトマト育種戦略—

農業・農村の現場から

自立支援のためのソーシャルファームで……………宮嶋 望 42
高品質のチーズを生産
—北海道・共働学舎新得農場の取り組み—

世界の農業は今

中国農業の現状と将来展望……………巖 善平 49

私の経営と志

北海道初山別村で小麦・大豆・野菜作経営……………秋山 直人 55
—法人化して見えてきたもの—

農家の気持ち

地方の働き方も複業・兼業の時代へ……………筒井 永英 57
—夫婦で別事業のメリット—

統計情報

2022年土壌改良資材の農業用払出量調査結果…………… 58

農政情報

…………… 59

編集部から…………… 59

大日本農会だより…………… 60

会誌『農業』に関するアンケート

表紙写真説明

世界農業遺産「能登の里山里海」の風景・白米千枚田 (石川県輪島市)

石川県能登半島の4市5町(七尾市、輪島市、珠洲市、^{はくい}羽咋市、志賀町、^{ほうだつしみず}宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町)に広がる「能登の里山里海」は、農林漁業とそれに関わる人々の営みの中で守り伝えられてきた祭礼や伝統技術、美しい景観、豊かな生き物のつながりなどが評価され、2011年6月に日本初の世界農業遺産に認定されました。

「能登の里山里海」のシンボリックな存在でもある「^{しろよねせんまいだ}白米千枚田」は、日本海に面する急斜面に、大小さまざまな1,004枚の田んぼが棚田状に広がっており、農林水産省が選定する「つなぐ棚田遺産」にも認定されています。農業機械を入れることができず、耕作者の高齢化も進んでいることから、オーナー制度を導入しており、地元住民や全国各地からやってくるオーナー会員らの活動によって美しい景観が維持・保全されています。稲刈り後の時期には、イルミネーションイベント「あぜのきらめき」が開催されており、また違った景色も楽しめます。

(写真：「能登の里山里海」世界農業遺産活用実行委員会、
文：石川県農林水産部里山振興室 中村 弘和)